

本年もよろしくお祈いします

副校長 武内 伸輔

あけましておめでとございます。

今年は寅年です。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表していて、寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされているそうです。

また、虎には、毛皮の模様から夜空に輝く星と考えていて、「決断力と才知」の象徴としての意味もあるそうです。

昨年は後期になり体育祭、社会科見学、遠足、学校公開、学芸会と少しずつではありますが、従来の活動も行えるようになってきました。また、オンラインでの授業など新しい試みも行えました。金山小学校とのオンラインでの姉妹校交流も2年目を迎え、特に高学年では、1人1台のタブレットのよさを使っての交流をするなど昨年度の交流より進化したものができていました。新しい形での「より密度の濃い交流」になっていると感じます。

学校では12月から少しずつ来年度の計画を立て始めています。

コロナ禍での学校生活も丸2年をおかえようとしています。来年度の計画を立てていく中で「来年度はコロナは落ち着いているだろうか。」や「もしものことを考えて2バージョンの計画が必要だろうか。」と考えてしまうことがあります。

その一方でこの2年間のコロナ禍を過ごしたからこそ新しい発見や、様々なことが精選されたり、進化していたりすることを感じます。

学校として大切なことは児童が健康、安全で楽しく学習や生活できることです。この基本を大切に「コロナ禍だからこそできたことのよさ」を取り入れた学校づくりを進めていきます。寅年らしく、児童が大きく成長し、一人一人が輝ける学校に向けて教職員一同、取り組んでまいります。

どうぞ本年もご協力をお願いします。